OpenRTM-aist関連仕様の提案プロセス（案）

NEDO 金広

1. 対象とするOpenRTM-aist関連仕様

OpenRTM-aistの一部として配布されている、データ型（BasicDataType.idl等）、デバイスインタフェース（IMU.idl等）の仕様、NEDO次世代ロボット知能化技術開発プロジェクトで策定した作業、移動、コミュニケーションの各共通インタフェース、その他関連する既存仕様及び新規仕様の提案を対象とする。

RTミドルウェアの仕様に関しては、OMGでの協議が必要となるため、対象外とする。

1. 提案プロセス
	1. 提案
	　別紙の様式に従って提案内容をまとめ、提案をopenrtm-users MLに投稿し、意見を募る。意見を募集する期間は最低1ヶ月とし、期限は提案者が設定できるものとする。提案者は必要に応じてサンプル実装も提供する。なお、提案に対応する規格等が既に存在する場合、可能な限り既存規格に基づいた提案を行うこと。
	2. ML上での議論

提案内容に関する意見の対立が生じた場合、ML上での議論によって解決を図る。提案者はML上での議論をとりまとめ、必要に応じて提案内容の修正、場合によっては取り下げを行う。提案内容の修正を行った場合は、修正が軽微である場合を除き、少なくとも1週間新たな意見を受け付ける期間を設ける。

* 1. RTM国際標準化委員会での審議

　提案者はRTM国際標準化委員会に出席し、提案内容、ML上での議論の内容について説明する。委員会は審議を行って、採択とするか否かを判断する。

* 1. 発効

　提案が採択された場合、OpenRTM-aist開発チームは1ヶ月以内に提案内容を反映させたソースコードを作成して新たなバージョン番号を設定し、オフィシャルサイトから入手可能な状態にする。

以上

（別紙）

1. タイトル
2. 提案者名・メールアドレス
3. 履歴
	1. 提案日
	2. 締切日（提案日から1ヶ月以降かつ最終改定日から1週間以降）
	3. 改訂履歴
4. 概要
5. 提案理由
6. 仕様
7. 提案が後方互換性に及ぼす影響
8. その他特記事項